

平成 28 年度事務事業評価表 (一般用)

事務事業名		090206		090200		2998-9230			
事業コード		公共用水域等汚濁状況の常時監視事業		環境対策課		グループ 水・騒音			
開始年度		昭和 62 年度		終了年度		年度			
事業の概要	事業の種類	自治事務		法定受託事務		法定受託 + 附加			
	分野別計画・指針	所沢市環境基本計画、埼玉県公共用水域水質測定計画							
	関連・類似事業	地下水の水質汚濁状況の常時監視事業(環境対策課)							
	総合計画の体系	章 環境・自然	節 環境保全	基本方針	水・土壌環境の保全・改善				
事業開始の背景	水質汚濁防止法に基づく政令委任(昭和62年)に伴い、同法第15条に基づき本事業を開始した。								
事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)								
	市内主要河川の水質と河川底質(川底の泥)の環境基準項目等を中心として、河川の汚濁状況を監視し、水質汚濁防止に係る施策の基礎資料を得ることを目的とする。								
	対象(誰を、何を対象としているのか)	対象数	単位	平成 26 年度	88	項目			
	市内公共用水域(柳瀬川、東川、不老川)測定項目			平成 27 年度	88	項目			
事業の具体的な内容及び実施方法									
埼玉県および所沢市が定めた公共用水域水質測定計画に基づき、pHなどの生活環境項目、カドミウムなどの健康項目等について、市内主要河川の水質と河川底質の調査を行う。									
埼玉県が所沢市等の測定担当機関と協議の上、「埼玉県公共用水域水質測定計画」を策定。対象:2地点(柳瀬川・東川各1地点)									
市独自に「所沢市公共用水域水質測定計画」を策定 対象:13地点(柳瀬川7地点・東川3地点・不老川1地点)・柳瀬川最上流部2地点(の地点も含む)									
県の測定計画に基づく2地点について、月1回の水質調査及び年1回の底質調査。所沢市独自の測定計画に基づく11地点(柳瀬川・東川・不老川)について月1回、水質を調査。									
結果を取りまとめ、環境基準や過去の測定結果との比較、評価を行い、有害物質については環境基準を超過する値が検出された場合などに原因調査調査結果の国・県、関係機関への情報提供、公表									
経費	会計種別	一般会計		平成 26 年度 (千円)		平成 27 年度 (千円)		平成 28 年度 (千円)	
	予算現額			3,160		3,200		3,351	
	決算(見込み含む)			3,395		2,883			
	(非常勤特別職員) (臨時的任用職員)	(人)	(人)	(人)	(人)				
	正規職員人件費	0.97 人		8,459		1.04 人		9,006	
	事業費合計	11,854		11,889					
財源内訳	一般財源	11,854		11,889		3,351			
	国・県支出金								
	その他()								
実績	項目名	項目説明		単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標	
	測定項目	測定項目数		項目	88	88	88	88	
	測定地点	定期測定13地点・年12回		地点	13	13	13	13	
成果	項目名	項目説明		単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標	
	成果指標	実施項目率	測定項目/計画項目×100	%	目標値 100	100	100	100	
	目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	実績 100	100	100		どちらかをチェックしてください
改善点	(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)				(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析				
	環境省が定める事務処理基準に従い、測定地点の見直しを行った。								
評価	評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了		事業実施方法(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他		理由		
	評価	方向後の		次年度予算	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持		理由		
備	(1)平成28年度に取り組んでいる状況				(2)今後の方向性				
	次年度以降の公共用水域の水質測定計画を作成するために、水生生物の生息状況等を確認する調査を行う。				狭山湖橋(東川)のBOD基準値超過が多い(平成27年度:11回)ため、今後原因を調査していく必要がある。本事業は今後も継続して実施していく。				
評価日	H28.8.19		評価者職氏名	環境対策課長 矢野 正和					
環境影響	有益な環境影響	4-2水質汚濁の防止		有害な環境影響を及ぼす原因活動	自動車の使用、紙の使用		規制を受ける環境法令等	無	
							緊急事態	無	